



歯科デジタル技工の最前線を知る!

ビタ ブロック ウェビナー

VITA社製 CAD/CAM ブロック ウェビナー



デジタル歯科治療が加速する中、材料選択は補綴物の品質と臨床効率を大きく左右します。本ウェビナーでは、VITA社製 CAD/CAMブロックを中心に、デジタル時代に求められる材料特性や臨床・技工での活用ポイントをわかりやすく解説します。

毎月1回、テーマを絞って開催し、

- ・ VITAブロック各種の特徴と使い分け
- ・ デジタルワークフローにおける材料選択の考え方
- ・ 臨床・技工現場での具体的な応用例

など、日常臨床・技工にすぐ役立つ内容をお届けします。

VITA社製品をすでにお使いの方はもちろん、

「これからデジタルを取り入れたい」

「材料選択の基準を整理したい」という方にも

おすすめのウェビナーです。ぜひお気軽にご参加ください。



日時	内容	講師	お申込みはコチラ▼
2026 4/22 (水) 🕒 19:30~20:30	IOS時代に合わせた接着修復を成功させるポイント 近年各社より様々なIOSが発売され開業歯科医師が実診療に使用する頻度が増加し、もはや避けては通れない時代になってきています。しかし印象採得などの手間を考えると一見便利になったと思いきや右も左もわからずとりあえずやってみるものの修復物のアンフィットや脱離、破折などが目立つようになり手放してしまう先生も多いことも事実です。 今回はそういった勘所となるポイントを若手歯科医師の目線も交えて話させていただきます。	 池田 奈右 先生 日本臨床歯科CAD/CAM学会認定医	
2026 5/27 (水) 🕒 19:30~20:30	VITA Enamicの可能性を探る ~犬歯小臼歯間の空隙を非形成ベニアで改善した一例~ VITA Enamicは性質が特殊なために皆さんにとって選択するのが慎重になるマテリアルではないのでしょうか？ 最近では非形成歯面に対するベニアが注目を集めています。3Dプリンターとマテリアルの発展により0.1mmのものまで発表されています。VITA Enamicはベニアにも使用できますが最低厚さ0.2mmとされており、前述したマテリアルと比較すると厚さを重視する場合は選択外となってしまいます。 しかし非形成ベニアは長期的な予後に関して現時点ではエビデンスが乏しい治療方法です。薄いことで脱離した際に破損する恐れもあります。破損する可能性を考えると短時間でミリングできるVITA Enamicは煩雑な工程を必要とするプリンター製より効率的といえます。術者側だけでなく、すぐに修復ができることで患者側にもメリットになると考えています。非形成ベニアは現状ではあくまでも、一時的なもの、とした術者患者間での共有が不可欠です。今回は短期間の経過ですが患者同意のもと0.2mm以上離れている矯正後の空隙に対してVITA Enamicを応用した一例と、私の日常臨床での選択基準についてお話しします。	 齋藤 健介 先生 KENオーラルケアクリニック 院長	

定員 各回 100名

参加費 無料

予告

6・7月 連続開催!

6月以降も多彩な講師陣によるウェビナーを続々と企画しております。詳細はHAKUSUIホームページをご覧ください。

ご視聴方法

お申し込み完了後、送信される受付完了メールに記載のURLより、ZOOMへの事前登録をお願いいたします。ZOOM登録完了後、ご視聴URLがメールにて届きますので、当日はそちらのURLよりご視聴ください。

ご提供いただいたお申し込み情報は個人情報保護法に準じ厳密に取り扱いたします。 主催：白水貿易株式会社

■ 申込方法・お問合せはこちら

白水ホームページの
セミナーページへアクセス!

二次元コードを読み取って
簡単 お申込み!



<https://www.hakusui-trading.co.jp/>

初めてのお申し込みには
ユーザー登録をお願いいたします

ユーザー登録には
メールアドレスが必要です

PC・スマートフォン・タブレット対応

ログインして
お申込みください

簡単!

問
合
せ

白水貿易株式会社 セミナー受付係
受付時間 平日 10時~16時(土日祝日除く)

大阪本社 TEL 06-6396-4411